

あすなろ通信

茅ヶ崎高校校長だより
No.1 平成 29 年 4 月 20 日

「想いを形に」 ～はじめの一步を踏み出そう～

校長 2 年目になります清宮太郎（きよみやたろう）です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。今年度は、この校長だよりを通して、皆さんへのメッセージや「茅高」の仲間の活躍を紹介していきたいと思ひます。

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。前任校は逗子市と葉山町の境目にある逗葉高校です。茅ヶ崎高校同様に、部活や学校行事の盛んな学校でした。

その前の学校は、藤沢養護学校です。子どもたちが生き生きと活動し、明るく元気一杯な学校でした。また、横浜南養護学校にも勤めていました。ここは、全国的にも有名な「こども医療センター」という病院の中にある学校で、小学生から高校生までが入院して治療を受けながら勉強をしていました。特別支援学校（養護学校）には、合計 3 年間勤務していました。

それ以前は、横須賀の鴨居中、鷹取中、初声高校、三崎高校、追浜高校定時制、磯子高校、新羽高校で勤務していました。

さて、いよいよ平成 29 年度の学校生活が始まりました。新年度のスタートにあたり、こんな気持ちでがんばってほしい、と思うことを始業式と入学式で話しました。それは「想いを形に」してほしいということです。

皆さんは、たくさんの夢や希望を持っています。そして、勉強のこと、部活動のこと、卒業後の進路のことなど、さまざまな想いを持っています。

自分自身も、高校生ときには、たくさんの夢や希望とたくさんの想いを持っていました。しかし、臆病だった私は、ほとんど何も行動に移せませんでした。高校を卒業してから、あれもやっておけばよかった、これもやっておけばよかった、とたくさんの悔いがありました。今でも、高校時代には、たくさんの忘れ物をしてきたように感じています。

「青春」と呼ばれる高校時代に、「自分の想いを大切にしてほしい。何か行動してほしい。そして悔いを残さないでほしい」そんなメッセージを高校生に伝えたかったのが、私が高校の教師になろうと思った大きなきっかけで



した。

「夢を形に」としなかったのは、「夢」ほど大きくなくても、「こうなったらいいな」「こうしたいな」という想いを、何か形として表してほしかったからです。もう少し別の言い方をすれば、「はじめの一步」を踏み出してほしいということです。

それは、勇気のいることかもしれませんが、「想いを形に」しようとしたとき、間違いなく皆さんは成長しています。最初はどううまくいかないことがあるかもしれませんが、もしかすると、うまくいかないことの方が多いのかもしれません。

しかし、恐れずに、勇気を持って、「はじめの一步」を踏み出してもらいたいと思ひます。躊躇するとき、臆病になるとき、茅ヶ崎高校の先生がそつと背中を押してあげたいと思ひます。

そして、「高校時代に、私はこんなになんぼった」と、胸を張って茅ヶ崎高校を卒業してもらいたいと思ひています。周りの友達も、先生も、きっと応援してくれるはずですよ。みんなで、一緒にがんばっていきましょう。

「あすなろ（翌檜）」という木は、檜（ひのき）に似ていますが、檜のようには大きくなれず、「明日こそは檜になろう」と毎日思ひています。そう思ひ続けても、結局は檜になれない「あすなろ」という木が、とてもいとおしく、自分と同じように思ひました。「あきらめずに、なりたいと思ひ気持ちをもち続ける」ことの大切さを、この通信で伝えることができたいと思ひています。



～茅高よ、世の荒波を分けて進め～ 茅高ニュース

新しい仲間が加わりました

4 月 6 日（木）、全日制第 69 回、定時制第 70 回入学式が行われました。全日制は 291 名、定時制は 27 名の新入生が、あらたに「茅高」のメンバーに加わりました。1 日も早く学校生活に慣れて、楽しい学校生活を送ってほしいと思ひます。部活動や、学校行事にも、積極的に参加していきましょう。

入学式の回数は何で違うの？と、思ひた人も多いいと思ひます。実は茅ヶ崎高校は、定時制と被服科の学校として、昭和 23 年に茅ヶ崎市立茅ヶ崎高校としてスタートしているのです。翌年に全日制普通科が設置されたので、定時制のほうが 1 年先輩になっているのです。昭和 26 年には、神奈川県立茅ヶ崎高校として生まれ変わり、現在に至っています。